

# MONOBE TIMES

教育目標  
○心情豊かな人  
○自ら学ぶ人  
○勤労を尊ぶ人  
○よく考えて行動する人  
○国際社会に貢献する人

〒321-4511 栃木県真岡市高田1838  
Tel 0285-75-0008  
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/monojhsc/>  
ホームページで学校の様子を紹介しています  
ぜひご覧ください



真岡市立物部中学校  
学校だより  
令和4年度 第6号  
令和4年 10月発行

## 校長室から

校長 石田 利雄



優勝の神奈川県チームと一緒に記念撮影

### いちご一会とちぎ国体サッカー競技観戦

10月6日(木)、いちご一会とちぎ国体サッカー競技の少年の部決勝戦、青森県選抜vs神奈川県選抜の試合を観戦しました。雨が降る中でしたが、1点を争う好ゲームで70分間の激闘の末、神奈川県選抜が8年ぶりの優勝に輝きました。両チーム、郷土のために全力を尽くしている姿は、生徒たちに感動を与えてくれました。生徒たちも、試合中は両チームに声援を送っていました。表彰式終了後、優勝した神奈川県選抜の選手たちが、応援していた生徒たちに優勝のあいさつに来てくれて一緒に記念撮影をしました。

### 「読書の秋」

#### 家読(うちどく)のすすめ

- ・家族や身近な人と同じ本を読む
- ・家読の日、時間を決めてみんなで読む
- ・読んだ本の感想をみんなで話し合う
- ・自分のおすすめの本を教えてあげる
- ・家族や身近な人に本を読んであげる

さて、10月は『スポーツの秋』、『芸術の秋』など様々な言葉が当てられています。『読書の秋』について話をさせていただきます。

2021年度に実施した本県の読書活動に関する実態調査の結果から話をします。小学校21校の5年生720名、中学校20校の2年生759名、高等学校20校の2年生2,209名の児童・生徒を対象にしたものです。

まず、「1か月の平均の読書量(まんがや雑誌を除く、電子書籍を含む)」について、小学生8.38冊、中学生4.20冊、高校生1.45冊の結果が出ました。小中学生は昨年度に比べ、やや上昇が見られました。学齢が上がるにつれて、不読者が多くなっている傾向は続いています。また、電子書籍の利用は特に中学生(※24.2%)において増加しており、高校生の利用割合とほぼ差が見られません。(※中学生全読書冊数3,181冊、電子書籍冊数769冊)

次に、「本を読まない理由」について、中学生だけで見ると、1位が「テレビ・DVD・動画(YouTubeなど)を見るのに時間を使う」、2位は「ゲーム(家庭用ゲーム機・スマートフォン等)に時間を使う」、3位「まんがや雑誌の方がおもしろい」・「特に読みたい本がない」との結果が出ました。

本を読まない理由の結果を踏まえ、生徒たちには、読書の必要性について学級掲示板を利用して、次の3点について資料を提供したいと考えております。1つ目は、読書をすることで、読解力や創造力、思考力、表現力等が養われる。2つ目は、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができる。3つ目は、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、更なる探究心や真理を求める態度が培われる。そして、最も大切なことは、感受性が豊かな中学時代や高校時代にしか得られない感動、深い気付きがあることを伝えたいと思います。

『家読(うちどく)』は、読書の習慣を共有することでコミュニケーションを図り、家族の絆を強める取組でもあります。ぜひ、ご家庭でも実施してはどうでしょうか。

※ 裏面に続きます

◆◆ いちご一会とちぎ国体サッカー競技観戦 ◆◆

みんな笑顔で記念撮影！ おめでとう！！

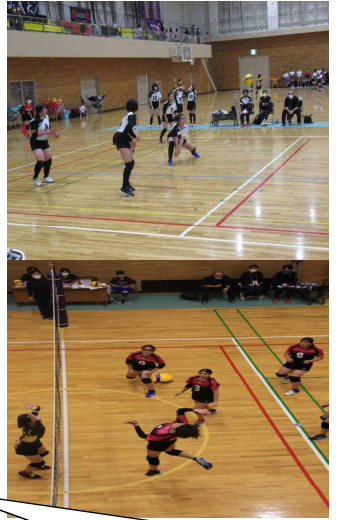


◆◆ 読み聞かせ ◆◆



読み聞かせボランティアの皆さん  
毎回、朝早くから読み聞かせありがとうございます。

◆◆ 郡市新人各種大会 ◆◆



野球部2回戦 VS茂木中

バレーボール部 予選 VS久下田中 トーナメント1回戦 VS山前中



サッカー部 山前中と合同チームで参加 1回戦 VS七井中

卓球部 男女団体リーグ戦